

## 3 デジタルソサエティ事業部③

# マイナンバーを活用し 安全・安心で豊かな未来を創造していく

「昨年、マイナンバーカードに対しては少々逆風が吹いている。しかしながら、デジタルソサエティ事業部の若手メンバは、マイナンバーが社会の隅々にいきわたり、社会を支え、人々の生活が便利で豊かになる未来を描きながら、日々取り組んでいる。その想いを語ってもらった。」

## 国民生活に直結したシステムの重要性を日々実感

——やりがいや魅力を感じている点を聞かせてください。

**小木曾** マイナンバーを使って外部情報との連携を行う際に情報提供ネットワークシステムが用いられるのですが、その関連システムの運用保守を担当しています。マイナンバーの活用というのは、ある意味一番国民に近いサービスなので、自分の業務がそのまま国民の生活に直結していることを日々感じています。

**高松** 私は、今年度新設されたコンサルティング担当で、マイナンバー・マイナンバーカードを活用した新規事業創出の検討や Foresight 営業を行っています。今後のマイナンバーカード利活用拡大に向けて、社内他組織含めた関係者やお客様と議論したり、未来像を描いたりしており、自分たちが国のインフラの成長を担っているというやりがいをも実感できています。

**桐原** 私が手掛けているのは、オンライン上で本人確認を行うために埋め込まれている、電子証明書に関連するシステム開発です。エンドユー

ザーが国民全員という社会的な影響力が大きい仕事ができていると実感しています。

あと、当社は要件定義の最初のところから、設計・開発、移行、運用保守というシステム開発全体を一気通貫で経験することができるので、全体像を捉えながら仕事ができますし、お客様に最初から最後まで寄り添いながらシステムを開発して提供できるのも大きな魅力です。

**畑** 私は、マイナンバーカードの読み取りを行ったりするスマートフォンアプリの開発に携わっています。人々の生活に密接に関わっており、SNSやアプリストアのコメントで自分の関わったアプリが「すごく便利だ」と評価されているのを見ることができるといのは、世の中の役に立っているという実感がわいてやりがいにつながっています。

## 安全性の訴求と人々が利便性を 実感できるサービスが必要

——マイナンバー制度の現状をどのよ



株式会社 NTT データ  
公共統括本部 第三公共事業本部 デジタルソサエティ事業部  
(左から) 高松 祐果 氏、主任 桐原 慶 氏  
主任 畑 裕貴 氏、主任 小木曾 友哉 氏

うに見えていますか？

**桐原** 世間では、個人情報に国が管理されるなど不安をおおるような話もありますが、その背景には中身がわからない、オープンになっていないという部分があるのではないかと思います。危険なことはありませんし、これまで各自治体で個人情報を管理してきた状況と何ら変わりはないのですが… もっと安全性を積極的に訴えて、何となく怖いといったイメージを払拭できればと思います。

**小木曾** 個人情報の持ち方は、これまでと何ら変わってはいないのですが、個人情報が全て中央に集められて国が管理している、というイメージが持たれているようです。その部

分は変えていかないといけませんよね。あと、便利に使えるということ、より多くの人に知ってもらふ必要もあると思っています。

**畑** スマホでの利用も、正直まだあまり身近なものとはなっていない状況です。ふるさと納税の特例申請を簡単に行うことのできるアプリなどもあるのですが、まだ導入している自治体が多くないので… もっと広めていきたいです。

**高松** 引越しに伴う住所変更の手続きを一括で行うことができるサービスが11月に始まりましたが、同様の官民連携サービスがより拡大していけば、マイナンバーカードを活用する機会も増え、多くの人に便利であると感じてもらえると思います。現実には、まだ形にできているものは少ないという状況ですが…。

## 風通しのよい組織とチャレンジ機会により成長が促される

——職場の雰囲気や働き方はどのような感じでしょう。

**小木曾** 厳しい職場をイメージしていたのですが、穏やかな人が多く、ベンダさんも含めて良い雰囲気で。あと、若手のうちから色々な経験を積ませてもらっていると感じています。教育制度も充実していて、会社として成長を促そうという意識がとても強いと思います。

**高松** 自分のやりたいことをはっきり伝え、逆に上司から期待されるこ

とを直接聞ける機会が確保されていて、風通しは良いですね。女性にとっての働きやすさも感じます。産休・育休から戻って営業の最前線で活躍している方もとても多くて、自分自身のライフプランを踏まえて働いていける職場だと思います。

**畑** 上司も含め、チーム内で気軽に相談ができる雰囲気が醸成されていて働きやすいです。休みもきちんと取れますし、ワークライフバランスが実現できているという感じです。

**桐原** 組織の縦割りもないですね。先般手掛けた案件も、技術に詳しい方、セキュリティに詳しい方、PMができる方などに加わっていただきました。社内に色々な知識や経験を持った方がいるので、チームNTTデータとしてお客様にシステムを届けることができるというのは、非常に良いと思いますし、自分のやりがいにもつながっています。

## 風通しのよい組織と様々な経験の機会での成長が促される

——ご自身とマイナンバー活用の今後についてお聞かせください

**小木曾** 自分の関わっている分野から言うと、法律が出来て、それに則った情報連携ができるようになるまでの時間を早くしたいです。例えば、経済対策の減税のように、急遽決まった政策に対しても、基盤がすぐに対応できれば、いち早く国民に届けられます。もちろん、法律が成立するまでも時間はかかりますが、システム側で対応できることもたくさんあると考えています。

個人的には、お客様とも社内メンバーとも距離が近いマネージャーになりたいですね。

**桐原** デジタル化というと、どうしてもお年寄りの方々がおいてけぼりになってしまうところがあると思います。最近ではスマホを使いこなす高齢者の方も多ですが、全員がそうではありません。このまま行くと、若者ばかりが便利になることにもなりかねない気もして… 例えば、バスに乗るときにマイナンバーカードをかざせば高齢者割引になるなどといった、お年寄りに便利なサービスも、どんどん提案して企画・開発をリードしていきたいです。

**高松** 自分自身、給付金は関係ないですし、会社に勤めていると自分で納税もしませんので、マイナンバーカードは身分証明書替わりになってしまっています。私みたいにマイナンバーカードを持っているけど使う場面がないという方はたくさんいると思いますので、人生のどのような局面でも、“×マイナンバー”という接点を作っていきたいです。そのために、Foresight視点での提案から、受注まで確実に実現し、より良い社会を創造していきたいなと思います。

**畑** スマホアプリの開発は、全社的に見てそれほど多い案件ではありません。なので、この分野の有識者になって新しいアプリの立上げなどを行っていきたいです。

マイナンバーカードについては、物理的なカードからスマートフォンに証明書を入れるような進化を遂げておりますし、将来的には、手のひらにチップを埋め込み、いつでもどこでも使えるようなものになっていくかもしれませんね。

